

本庶 佑先生 ノーベル賞受賞 記念講演会

ヒトは幸運な生き物だ

参加
無料

〔講師プロフィール〕
京都大学高等研究院副院長／特別教授。日本学士院会員。京都大学医学研究科教授、同研究科長、文科省高等教育局科学官、JSPS学術シテム研究センター所長、総合科学技術会議議員を歴任。専攻は分子生物学。「免疫抑制の阻害によるがん療法の発見」により、二〇一八年ノーベル生理学・医学賞を受賞、二〇一三年文化勲章、二〇一四年唐獎（Tang Prize）、二〇一六年京都賞ほか多数受賞。趣味のゴルフでエイジシュートを目指している。



〔講師〕
本庶 佑氏

京都大学高等研究院副院長／特別教授
「免疫抑制の阻害によるがん療法の発見」により、2018年ノーベル生理学・医学賞を受賞。

講演内容

最近のコロナ騒ぎで皆さんは私達の身体の免疫システムの重要性に気づかれたと思います。同時に私達の免疫の仕組みがまだ十分に解明されておらず、コロナウイルスの感染によって、なぜある人は死に至るほどの重症化を起し、また逆に多くの人が軽い風邪のような症状だけで済むのか、不思議に思われたことでしょうか。免疫系は感染症だけではなくがん細胞とも戦い、免疫系を活性化してがんの治療を行うことができるようになりました。

このように多くの微生物から体内の異物であるがん細胞まで幅広く自分と違うものをみつけて、これを攻撃する能力を持ったしくみが脊椎動物には備わっています。これを獲得免疫と言ひ、ほんのわずかな違いでも識別して自分とは違うものと認識したら、これをただちに攻撃する仕組みです。獲得免疫は、脊椎動物の誕生間も無く偶然の機会に私達の先祖が獲得し、その後これを活用して生きながらえて来たのです。

しかし、この仕組みは主として生物が感染症から逃れるために大切に保存して進化させて来たものです。今日のようにこれが「がん」という死をもたらす病気にまで有効な仕組みであるとは思ひもありませんでした。その理由は、生物が「がん」によって死ぬほど長生きすることがなかったからです。衛生状態が良くなり、抗生物質の開発によって私達は感染症を克服し、代わりに「がん」の脅威と戦うようになりました。獲得免疫が「がん」にも有効だということは誰も想定しなかったまさに棚からぼたもちのような幸運なのです。思いがけない幸運はこうして人類に大変長い寿命を与えることになりました。私達人類はなんと幸運な生物でしょう。

お申し込み

E-mail、FAXのいずれかで次の①～⑥をお知らせください。

- ①お名前(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④年齢
⑤所属(ある方のみ) ⑥FAX番号(FAX申込の方)

締切：令和2年11月25日(水)

お申し込み先



公立大学法人
福岡女子大学

E-mail: c-renkei4@fwu.ac.jp FAX: 092-692-3220

TEL: 092-661-2728(直通・平日9時～18時) <http://www.fwu.ac.jp>

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、福岡県の「催物(イベント等)を開催する際の感染防止策」を講じた上で実施いたします。
ご理解・ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

主催：九州大学 福岡女子大学
共催：九州産業大学 西南学院大学 中村学園大学
福岡大学 福岡工業大学 福岡歯科大学
後援：福岡県教育委員会

※同時中継会場：円形ホールへのご案内となります。

〔日時〕

令和2年

12/3(木)

16:00～17:30

(15:00開場)

〔会場〕

アクロス福岡
イベントホール
(福岡市中央区
天神1丁目1番1号)